

文字 大 中 小 色 標準 黒 青 黄

回答内容入力



回答内容確認



回答完了

R5宮城県内企業等のデジタル化・DXに関するアンケート

[ヘルプ](#)

回答内容の入力

操作方法のご説明

下記の入力フォームに必要事項を入力した後、「回答内容の確認に進む」ボタンを押してください。
途中まで入力した内容を一時保存したい場合、「回答内容を一時保存する」ボタンを押してください。

注意事項

必須 マークがある項目は、必ず入力してください。
機種依存文字（半角カナ、丸付き数字、ローマ数字、「崎」など）は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。

近年、生産性の向上や新たな価値の創造を目指すデジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）が注目されています。宮城県ではこのたび、各企業等におけるデジタル化の現状を把握し、今後のデジタル化推進に係る方策を検討するため、各企業等に対し「デジタル化・DXに関するアンケート」を実施することとなりました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査へのご協力について、よろしくお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査で得られた情報については、県の内部で今後の施策立案等のために使用させていただくとともに、企業名等が特定できない集計結果の形で公表することはありますが、本アンケート調査で得られた個人情報（適正に取り扱い、目的外に使用したり、個別の回答内容が公表されたりすることは決してありません。

<回答所要時間（目安）>

10分

※本アンケートにおける「デジタル化」とは、通信（インターネット等）やITツール（勤怠管理、給与計算システム、Web会議システム等）の導入、事業で得られる社内のデータ（POSデータ、経理データ、工場の稼働データなど）や外部のビッグデータの利活用、IoTやAIなどにより、自社の業務の一部／全部を改善することを指します。

[回答内容を一時保存する](#)[回答内容の確認に進む](#)

貴社（支店、事業所、個人経営、団体を含む。以下同じ。）について以下の項目をお教えてください。

Q1 昨年度、貴社は同調査に回答しましたか。

必須

- 回答した
 回答していない
 わからない

Q2 貴社名

必須

（支店等でご記載の場合はその名称までご記入ください）

Q3 所在地

必須

市区町村単位で選択ください

Q4 回答者の所属

必須

Q5 回答者の役職

必須

Q6 回答者のお名前

64文字以下で入力してください。

必須

Q7 回答者の電話番号

20文字以下で入力してください。

必須

Q8 回答者のメールアドレス

254文字以下で入力してください。

メールアドレス1

確認用

必須

メールアドレス1とは別のメールアドレスでも通知メールを受信したい場合、メールアドレス2を入力してください。

メールアドレス2 (任意)

確認用

※メールアドレス1、2に送信される通知メールの内容は同一です。

※スマートフォンの場合、ドメイン指定受信を設定されている方は「elg-front.jp」を受信できるよう指定してください。

Q9 従業員数（派遣・パートを含む）

必須

- 5人以下
- 6～20人
- 21～50人
- 51～100人
- 101～300人
- 301人以上

Q10 主な業種（もっとも当てはまるものを1つ選んでください）

必須

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

貴社のデジタル化の取組状況についてお聞きます。

Q11 貴社の現在のデジタル化の取組段階をお答えください。

必須

- 進んでいない 例：E-mail、表計算ソフトの導入等
- あまり進んでいない（業務・生産プロセスの一部に対してデジタル技術を導入） 例：発注書など書類作成の電子化・自動化、勤怠管理システムの導入等
- ある程度進んでいる（業務・生産プロセス全体に対してデジタル技術を導入） 例：発注書など書類作成から相手企業とのやりとり、決裁に至るまでのプロセスの電子化、自動化等
- 進んでいる（各業務・生産プロセスを組み合わせた全社的な業務・生産プロセスに対しデジタル技術を導入） 例：販売データやマーケティングデータの活用で需要予測を行い、その結果をもとにした調達・生産・在庫管理の実施等
- かなり進んでいる（全社的な業務・生産プロセスの改善や企業変革を踏まえたビジネスモデルの抜本的な転換や、新規事業／新製品・サービスを創出している） 例：製品・サービスの提供方法の販売からサブスクリプションへの変更等

Q12 貴社はデジタル化推進のために、ITツール等を

- 保有・活用している
- 保有・活用していない

保有・活用していますか。 把握していない

必須

ITツール等を保有・活用している場合、現在どのようなITツール等を保有・活用していますか。

Q13-1 文書・図面（電子化、電子決裁、CADなど） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-2 人事労務（勤怠管理・給与計算システムなど） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-3 会議（オンライン会議ツールなど） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-4 経理（会計システムなど） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-5 コミュニケーション（グループウェア・チャットツールなど） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-6 SFA（営業支援システム）・CRM（顧客管理システム） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-7 ECサイト 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-8 ERP（統合基幹業務システム） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-9 工程管理システム（生産管理など） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-10 受注・発注管理 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-11 BIツール（データの収集、分析、加工など） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-12 AIの活用（需要予測や顧客分析など） 保有・活用している
 保有・活用していない

必須

Q13-13 RPA（業務プロセス自動化ツール）
必須

- 保有・活用している
 保有・活用していない

Q13-14 その他
必須

- 保有・活用している
 保有・活用していない

Q13-14-1 その他で
利用しているITツール等
必須

Q13でお答えいただいた、現在保有・活用中のITツール等について、自社の業務効率化や売上高増加等にどの程度効果が出ていますか。

Q14-1 文書・図面（電子化、電子決裁、CADなど）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-2 人事労務（勤怠管理・給与計算システムなど）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-3 会議（オンライン会議ツールなど）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-4 経理（会計システムなど）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-5 コミュニケーション（グループウェア・チャットツールなど）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-6 SFA（営業支援システム）・CRM（顧客管理システム）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-7 ECサイト
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-8 ERP（統合基幹業務システム）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-9 工程管理システム（生産管理など）
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-10 受注・発注管理
必須

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

Q14-11 BIツール（データの収集、分析、加工など）

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

ど)

必須

Q14-12 AIの活用
(需要予測や顧客分析など)

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

必須

Q14-13 RPA (業務プロセス自動化ツール)

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

必須

Q14-14 その他

- 大きく効果が出た 効果が出た
 あまり効果が出ていない 全く効果が出ていない

必須

Q15 今後導入したい IT ツール等にはどのようなものがありますか。

必須

- 文書・図面 (電子化, 電子決裁, CADなど)
 人事労務 (勤怠管理・給与計算システムなど)
 会議 (オンライン会議ツールなど)
 経理 (会計システムなど)
 コミュニケーション (グループウェア・チャットツールなど)
 SFA (営業支援システム)・CRM (顧客管理システム)
 ECサイト
 ERP (統合基幹業務システム)
 工程管理システム (生産管理など)
 受注・発注管理
 BIツール (データの収集, 分析, 加工など)
 AIの活用 (需要予測や顧客分析など)
 RPA (業務プロセス自動化ツール)
 ITツールを導入する予定はない
 把握していない
 その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q16 貴社でのデジタル化の取組が、貴社の経営全般にどのように影響したかお答えください。

必須

- 大きくプラス
 ややプラス
 どちらともいえない
 ややマイナス
 大きくマイナス

Q17 Q16で「ややマイナス」もしくは「大きくマイナス」とお答えした方にお聞きします。貴社のデジタル化が経営全般にマイナスに影響した理由について、どのようにお考えかお答えください。

必須

- 導入したツールやデータが自社の業務や課題とマッチしなかった
 ツールやデータを使いこなせる人材が不足していた
 ツールやデータの活用が社内で浸透しなかった
 事前に想定していたツールやデータ利活用による成果があがらなかった
 保守や運用のコストを見込んでいなかった
 パートナー企業 (IT企業等) の協力が足りなかった
 その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

デジタル化の課題認識についてお聞きます。

Q18 予算（コスト）がデジタル化を進める上での課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか。

必須

- 費用対効果の算出方法がわからない
- 費用対効果が低く、投資の回収の見通しが立っていない
- デジタル化に限らず新たな投資をする資金の確保が困難
- デジタル化に関する予算はあるが、既存システムのメンテナンスに費用を要するため資金の確保が困難
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q19 組織・体制がデジタル化を進める上での課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか。

必須

- 社全体で合意を得ている方針がない
- デジタル化を進める組織がない
- 社員にデジタル化に対する抵抗感がある
- 経営者にデジタル化に対する抵抗感がある
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q20 人材・知識・ノウハウがデジタル化を進める上での課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか

必須

- デジタル人材が不足しており採用に力を入れているが成果がでない
- デジタル人材の育成計画や採用計画、活躍できる場がない
- 個々の従業員が多忙なため、研修を受けることができない
- 社内研修などにおいて、教える側の数や質が十分でない
- 自社の組織体制や業務の変革の仕方がわからない
- 自社の課題がわからない
- 自社の課題に対しての解決方法・手段がわからない
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q21 パートナー（IT企業）がデジタル化を進める上での課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか

必須

- コストが高い
- 自社のビジネスや業務、ニーズへの理解が不足している
- ベンダーロックイン（ほかのパートナーへの乗り換えが困難）の状態である
- 何を基準に選んでいいのか分からない
- そもそもどうやって探していいか分からない
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

貴社のデジタル化の体制についてお聞きます。

Q22 貴社の経営トップは、デジタル化に関してどの程度責任を持って進めていますか。

必須

- デジタル化は重要な経営課題であると認識し、トップダウンで対応を進めている、またはトップダウンで対応を進めることを表明している
- デジタル化は経営課題であると認識しているが、トップダウンで対応を進めることまでは表明していない
- デジタル化は経営課題と認識していない

Q23 貴社においてデジタル化を推進する専門の部署（部、課室、グループ等）又は職位はありますか。

必須

- システム管理部署
- デジタル化推進部署
- 経営者
- その他部署、職位など
- 専門部署、職位はない

Q24 デジタル化の推進について、貴社の社員の意識をお答えください。

必須

- 積極的である
- やや積極的である
- やや抵抗感がある
- 抵抗感がある
- わからない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q25 貴社がデジタル化を推進する人材を確保するにあたり、どのような方法を行っていますか（行う予定で

- 既存社員の育成
- 専門職（デジタル人材）の正社員としての新卒採用
- 経験者の正社員としての活用
- 経験者の副業・兼業としての活用

すか)。
必須

- 特に何も行っていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q26 貴社がデジタル化を進めていく上で、必要と感じる支援についてお答えください。
必須

- デジタル化による生産性向上などについての事例紹介
- ユーザー企業のニーズや課題をIT企業等に伝える場
- IT企業等の保有技術をユーザー企業にPRする場
- デジタル化に関する個別コンサルティング（アドバイザー派遣などを含む）
- デジタル化人材育成のサポート
- IT企業等に対する人材育成のサポート
- 類似課題を持つ同業者の紹介
- 類似課題を持つ異業種他社の紹介
- デジタル化に関する補助金の拡充
- 特にない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

デジタル化に係る宮城県の支援制度についてお聞きます。

Q27 人材育成事業に参加する場合、どのような点を重視しますか。
必須

- 就業時間外の開催
- オンライン開催
- アーカイブ視聴ができるなどフォロー体制がある
- 多様なバックグラウンドを持つ講師から学ぶことができる
- そもそも必要としていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q28 人材育成事業のプログラムについて、参加したと思うのはどのような内容ですか。
必須

- 役職別（担当者、管理職、経営者など）のプログラム
- 部門別（管理、製造、営業など）のプログラム
- 講義中心のプログラム
- 実践中心のプログラム
- ケーススタディ中心のプログラム
- 参加企業同士の交流
- ベンダー企業とのマッチングの機会

- そもそも必要としていない
 その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q29 セミナーについて、参加したいと思うのはどのような内容ですか。

必須

- 実際にデジタル化・DXを活用した企業による事例紹介
 基礎的な講義内容（DXの定義、グループウェア等の要素技術の紹介 など）
 高度な講義内容（AI、IoT技術等の紹介 など）
 基礎スキルを学ぶ実践的な内容（グループウェア等の要素技術の活用方法 など）
 高度スキルを学ぶ実践的な内容（AI・IoT技術等の活用方法 など）
 業種を絞った具体的な内容
 そもそも必要としていない
 その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q30 補助金について、活用したいと思うのはどのような内容ですか。

必須

- 大規模事業（総事業費500万円超）を想定した補助金
 中規模事業（総事業費100万円以上500万円以下）を想定した補助金
 小規模事業（総事業費100万円未満）を想定した補助金
 補助対象にソフトウェア（会計ソフト、グループウェアなど）の購入・構築・利用料が含まれる
 補助対象にハードウェア（POSレジ、パソコン機器など）の購入費が含まれる
 補助対象に専門家経費（研修費、指導費など）が含まれる
 取組内容の検討や書類作成にアドバイザーが伴走支援してくれる
 そもそも必要としていない
 その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

お問い合わせ

<担当>

宮城県企画部産業デジタル推進課 小幡（おばた）

Tel : 022-211-2478

Email : sandigi1@pref.miyagi.lg.jp

[回答内容を一時保存する](#)

[回答内容の確認に進む](#)

ご利用にあたり

[サイトマップ](#)

Copyright © 2020 みやぎ電子申請サービス. All Rights Reserved.

